

8 学力向上推進事業

昭和 59 年度から「魅力ある高校づくり推進事業」を、引き続いて昭和 63 年度から「特色ある高校づくり推進事業」を実施するなど、全人教育を基盤に据えながら、生徒の多様化に対応する教育を進め、平成 2 年度からは、新たに「学力向上推進事業」を実施している。この事業は、「学力向上企画推進委員会による施策の立案・推進」と「高等学校の実践」を 2 本の柱としている。

(1) 学力向上企画推進委員会

本委員会は、中・長期的展望に立って、学力向上のための具体的施策等を企画立案し、小・中・高等学校での実践に資することにした。

ア 委員会の構成

教育次長、教育総務課長、義務教育課長、高校教育課長、特別支援教育課長、教学指導課長、教学指導課義務教育指導係長、同高校教育指導係長、総合教育センター教科教育部長及び指導主事で構成される。

イ 主な業務内容

- ・小・中学校における実践の指導助言
- ・調査研究委員会への指導助言
- ・学力実態調査の実施

(2) 小・中学校の実践内容

学力向上のための P D C A サイクルづくり支援事業

児童生徒の学力向上をめざして、各校が指導改善に取り組む上で参考となる情報を提供することを通して、学力向上のための P D C A サイクルの確立を支援した。

P 調査：4 月に、小学校 5 年と中学校 2 年の学力実態調査を実施した。

学力向上担当ミーティング：研究主任対象に、指導改善プランの立案を目指して実施した。

C 調査：11 月に、小学校 5 年と中学校 2 年の学力調査を実施した。

学力向上担当ミーティング：1, 2 月に、国語, 算数・数学, 英語の教科主任対象に、次年度に向けたアクションプランの立案を目指して実施した。

(3) 高等学校の実践内容

各学校の実態に即した学力向上のための実践が行われ、基礎学力の定着と伸びる力の伸長を図った。

- ・教育課程の見直し
- ・進学対策集中講座
- ・指導法の研究実践
- ・学習合宿の実施
- ・学習ソフト活用
- ・進路情報の活用

(5) 進路指導等研究協議会の実施

5月24日 総合教育センター 参加者 97人 対象者 高等学校進路指導主事

7月20日 総合教育センター 参加者 190人 対象者 中学校進路指導主事